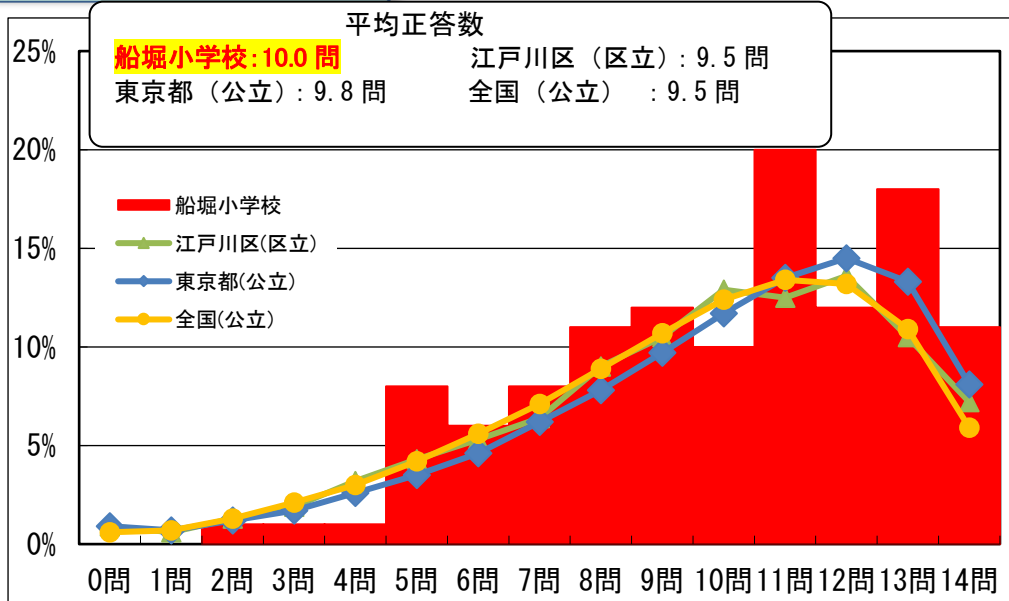


# 令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 船堀小学校

## 正答数分布



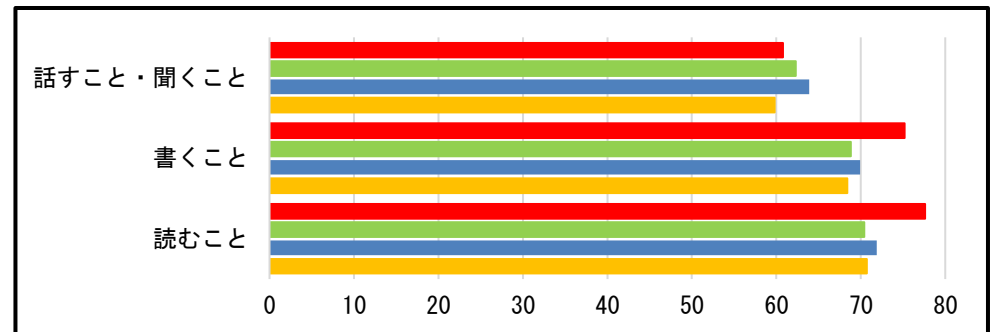
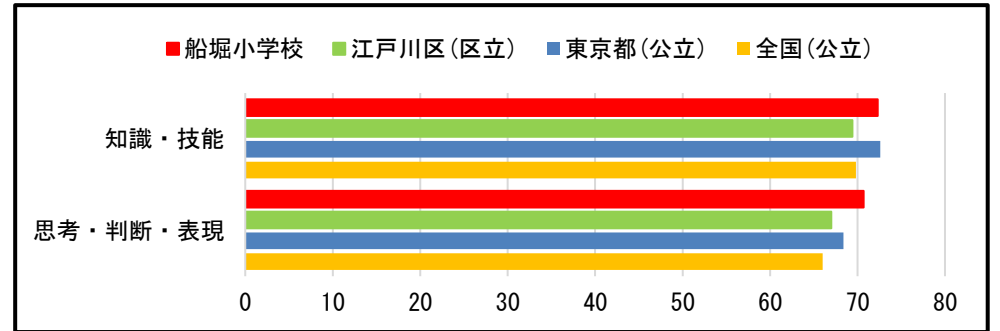
### <四分位における割合(都全体の四分位による)>

上位 ← → 下位

国語	A層 12~14問	B層 10~11問	C層 8~9問	D層 0~7問
船堀小学校	34.4	25.2	19.3	20.8
江戸川区 (区立)	31.3	25.4	19.5	23.8
東京都 (公立)	35.9	25.2	17.5	21.4
全国 (公立)	30.0	25.8	19.6	24.6

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。上の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

## 「領域別」の結果



### 【分析結果と授業改善に向けて】

#### 【平均正答率の差】

船堀小学校	71%
江戸川区 (区立)	68%
東京都 (公立)	70%
全国 (公立)	67.7%
都との差	1ポイント

%

○本調査において、東京都及び全国の正答率より下回った解答は、漢字の書き取り2問、メモの内容を説明したものを選択する設問1問であり、14問中3問であった。『競技』の書き取りの正答率は、42.9%と東京都の正答率と比較し6%下回る。また、『投げる』の書き取りにおいても5%下回る結果となった。なお、誤答の分布からは、CD層に限らずAB層においても誤答が多いことがわかる。

○誤答がAB層にも多く存在していることから、『へん』や『つくり』からなる漢字の構成や漢字の字義、読み方を推測したりする知識・技能が未習熟であると考えられる。指導において、『へん』や『つくり』からなる漢字の構成について取り上げるとともに、部首と他の部分の組み立て方と成り立ちとの関連を指導することで漢字学習の基礎を培っていく。また、CD層の児童においては、授業中に正しい漢字を書く経験をさせることを繰り返すなど、漢字の確実な習得を図る。